



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 ボーソー油脂株式会社

コード番号 2608 URL <http://www.boso.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片岡 治男

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長兼企画経理部長 (氏名) 川崎 薫

TEL 047-433-5552

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	9,383	△2.7	△107	—	△101	—	△62	—
27年3月期第2四半期	9,641	△3.1	267	—	248	—	148	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △74百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 162百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第2四半期	△3.94	—
27年3月期第2四半期	9.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
28年3月期第2四半期	11,114	4,167	37.5	263.90
27年3月期	11,188	4,320	38.6	273.69

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 4,163百万円 27年3月期 4,317百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	—	—	5.00	5.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	19,000	0.1	50	△51.9	50	△66.9	30	△61.5	1.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	16,060,000 株	27年3月期	16,060,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	282,844 株	27年3月期	282,844 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	15,777,156 株	27年3月期2Q	15,779,286 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を終了しており、11月11日付の四半期レビュー報告書を受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。なお、業績予想の前提となる仮定その他の条件については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や日本銀行の金融緩和を背景として企業収益や雇用環境が改善傾向を示すなど穏やかな回復基調で推移いたしました。一方で、円安に伴う物価上昇などから個人消費の回復力は弱く、海外景気の減速の影響も懸念されるなど、その先行きは依然として不透明な状況となりました。

植物油業界におきましては、それまで低下傾向を示してきた主要原料のカナダ菜種の市場価格が昨年10月ごろから反転、併せて急速な円安の進行により海外原料調達コストが大幅に増加するなかで、油脂製品の連產品である油粕価格が需給要因から大幅に低下するなど大変厳しい経営環境となりました。

こうした状況のなかで、当社グループでは、顧客ニーズにマッチしたきめ細かな営業活動を展開し、販売数量につきましては、業務用食用油は減少いたしました。家庭用食用油はコメ油を中心に大きく伸長し、油粕製品につきましても生産に合わせた適切な販売数量を確保することができ、せっけん・化粧品につきましても増加を図ることができました。

なお、売上高につきましては、油脂製品は販売価格の上昇から、せっけん・化粧品は販売数量の増加により前年同四半期を上回りましたが、油粕製品の販売価格低下の影響が大きく、全体では減少いたしました。

収益面につきましては、固定費を中心に全社的なコスト抑制に取り組む一方で、海外原料穀物価格の上昇を反映した適正な油脂製品価格の実現に取り組んでまいりましたが、油脂需要が伸び悩むなかで、十分な改定を図ることができず、赤字計上のやむなきに至りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の営業成績は、売上高93億83百万円（前年同四半期は96億41百万円）、営業損失1億7百万円（前年同四半期は営業利益2億67百万円）、経常損失1億1百万円（前年同四半期は経常利益2億48百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失62百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益1億48百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末における資産の部は、111億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ73百万円減少いたしました。主な要因は、売上債権の減少によるものであります。

負債の部では、前連結会計年度末比79百万円増加の69億47百万円となりました。主な要因は、仕入債務の増加によるものであります。

純資産の部では、前連結会計年度末比より1億53百万円減少の41億67百万円となりました。主な減少の要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上62百万円、その他有価証券評価差額金13百万円の減少、剰余金の配当金の支払78百万円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、期首残高より5億75百万円減少しましたので、11億65百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果使用した資金は3億32百万円（前年同四半期は6億68百万円の獲得）となりました。主な増加の理由は、減価償却費1億76百万円、売上債権の減少額1億68百万円、主な減少の理由は、税金等調整前四半期純損失1億円、たな卸資産の増加額6億41百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は1億8百万円（前年同四半期は1億38百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は1億35百万円（前年同四半期は1億76百万円の使用）となりました。これは主に借入金の返済及び配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年11月6日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,802,849	1,227,206
受取手形及び売掛金	3,525,416	3,357,388
商品及び製品	585,051	597,437
仕掛品	310,441	295,405
原材料及び貯蔵品	748,902	1,392,852
その他	165,315	265,590
貸倒引当金	△3,938	△3,892
流動資産合計	7,134,039	7,131,988
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	499,182	546,403
機械装置及び運搬具（純額）	1,165,269	1,113,656
土地	1,519,067	1,519,067
その他（純額）	18,127	25,061
建設仮勘定	107,926	35,872
有形固定資産合計	3,309,573	3,240,062
無形固定資産	48,552	41,186
投資その他の資産		
投資有価証券	266,823	248,088
その他	429,376	453,276
投資その他の資産合計	696,199	701,365
固定資産合計	4,054,325	3,982,614
資産合計	11,188,365	11,114,602

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,413,894	3,613,071
短期借入金	1,335,900	1,317,700
未払法人税等	13,359	10,218
賞与引当金	90,038	88,198
その他	434,034	402,517
流動負債合計	5,287,227	5,431,705
固定負債		
長期借入金	747,000	710,900
退職給付に係る負債	557,762	550,405
役員退職慰労引当金	76,466	49,574
負ののれん	2,152	1,076
その他	196,994	203,878
固定負債合計	1,580,375	1,515,835
負債合計	6,867,603	6,947,540
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,351,300	1,351,300
資本剰余金	814,596	814,596
利益剰余金	2,082,671	1,941,695
自己株式	△49,975	△49,975
株主資本合計	4,198,592	4,057,615
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	119,385	106,026
その他の包括利益累計額合計	119,385	106,026
非支配株主持分	2,783	3,419
純資産合計	4,320,762	4,167,061
負債純資産合計	11,188,365	11,114,602

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）
売上高	9,641,534	9,383,140
売上原価	8,354,055	8,481,849
売上総利益	1,287,479	901,291
販売費及び一般管理費	1,019,560	1,008,937
営業利益又は営業損失（△）	267,919	△107,645
営業外収益		
受取利息	218	143
受取配当金	3,206	5,297
負ののれん償却額	1,076	1,076
受取手数料	1,153	955
受取補償金	398	408
受取保険金	-	17,936
その他	6,215	3,272
営業外収益合計	12,269	29,089
営業外費用		
支払利息	21,457	20,573
持分法による投資損失	6,823	-
支払手数料	2,172	2,170
その他	859	652
営業外費用合計	31,313	23,396
経常利益又は経常損失（△）	248,876	△101,952
特別利益		
投資有価証券売却益	-	2,482
固定資産売却益	-	119
特別利益合計	-	2,602
特別損失		
固定資産除却損	602	1,054
特別損失合計	602	1,054
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	248,273	△100,404
法人税、住民税及び事業税	23,889	4,612
法人税等調整額	75,737	△43,561
法人税等合計	99,627	△38,949
四半期純利益又は四半期純損失（△）	148,646	△61,454
非支配株主に帰属する四半期純利益	314	636
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	148,331	△62,091

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	148,646	△61,454
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,218	△13,359
その他の包括利益合計	14,218	△13,359
四半期包括利益	162,865	△74,814
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	162,550	△75,451
非支配株主に係る四半期包括利益	314	636

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	248,273	△100,404
減価償却費	175,341	176,433
負ののれん償却額	△1,076	△1,076
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8,119	△7,357
賞与引当金の増減額(△は減少)	△24,295	△1,840
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,387	△26,891
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△514	△46
持分法による投資損益(△は益)	6,823	-
受取利息及び受取配当金	△3,425	△5,440
受取保険金	-	△17,936
支払利息	21,457	20,573
固定資産除却損	602	1,054
固定資産売却損益(△は益)	-	△119
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△2,482
売上債権の増減額(△は増加)	454,413	168,028
たな卸資産の増減額(△は増加)	△117,048	△641,299
仕入債務の増減額(△は減少)	△28,783	199,176
未払消費税等の増減額(△は減少)	6,475	△36,190
未払費用の増減額(△は減少)	△28,330	△8,732
その他	△13,283	△42,475
小計	706,136	△327,026
利息及び配当金の受取額	3,425	5,440
保険金の受取額	-	17,936
利息の支払額	△21,467	△20,692
法人税等の支払額	△19,867	△7,991
営業活動によるキャッシュ・フロー	668,226	△332,333
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△61,060	△61,060
定期預金の払戻による収入	61,060	61,060
投資有価証券の取得による支出	△757	△912
有形固定資産の取得による支出	△126,037	△103,444
投資有価証券の売却による収入	-	2,482
有形固定資産の売却による収入	-	120
その他	△11,398	△6,444
投資活動によるキャッシュ・フロー	△138,193	△108,199

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	845,000	761,000
短期借入金の返済による支出	△869,000	△765,000
長期借入れによる収入	142,000	152,000
長期借入金の返済による支出	△214,000	△202,300
自己株式の取得による支出	△126	-
配当金の支払額	△78,510	△78,311
その他	△2,356	△2,499
財務活動によるキャッシュ・フロー	△176,993	△135,110
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	353,039	△575,642
現金及び現金同等物の期首残高	1,228,307	1,740,789
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,581,347	1,165,146

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める油脂部門及びその副産物である油粕部門の製造及び販売事業の割合が、いずれも90%を超えているため、セグメント情報の記載を省略しております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める油脂部門及びその副産物である油粕部門の製造及び販売事業の割合が、いずれも90%を超えているため、セグメント情報の記載を省略しております。